

NPO・草の根活動**ひまわりの会（八尾市）**

ひまわりの会は1984（昭和59）年八尾市ボランティアスクールの受講生達で発足しました。現在、構成人員は男3名、女27名で活動しています。

会員相互の理解と協力のもとに高齢者及び障害者（児）の福祉向上に努めることを目的としています。

活動内容は

- ※障害者（児）団体の行事の援助
- ※老人ホーム等福祉施設での活動
- ※その他、目的達成のための活動等です。

会は月一回の定例会を開き、活動報告やボランティア要請に対する参加人員の調整を行っています。

他に施設の見学や車椅子体験等も行います。また、会員同士の親睦を図るための行事として布草履作りや、しめ縄作り、箆作り、絵手紙作り等を行っています。これらは、デイサービスで利用者と一緒に制作するのに役立てています。

老人ホームでは花の水やりや花作り、屋内散歩、食事とおやつ配り、針仕事を行っています。またバザーや施設のおやつ作り、オカリナの演奏、カラオケ、あるいはクリスマス会、お祭り等の手伝いが主な仕事です。時には利用者の話し相手にもなっています。

会員の最高年齢は77歳、とても元気な男性です。会員は次のような思いをもってボランティアに励んでいます。

- ※ボランティアは私にとって生きがいです。
- ※健康と自己研鑽の場です。
- ※楽しかったから、仲間がいたから、25年続けることができました。
- ※初めは一人で、だんだん仲間が増えて、あの人もこの人も、今では私の大切な財産です。
- ※ひまわりのようにいつも笑顔で楽しく明るくお手伝いしています。

※いろんな人とふれあいが出来て楽しいです。

家族の高齢化と高齢者のいる家庭の小規模化が進み、高齢者の生活障害は家族援助の手薄さによってますます深刻化しています。そのぶん私達ボランティアがお手伝い出来るようがんばりたいと思います。

今年で創立25年を迎え、会員も年々高齢化していますが、80歳代の人達が元気で過ごされているのにはとても勇気づけられます。2004（平成16）年には「厚生労働大臣」、2005（平成17）年には八尾市長からも表彰状が授与されました。

これからも会員一同、健康で明るくをモットーに、感謝の心をもって活動に励みたいと思います。

**摂津市人権協会
第三中学校区推進委員会**

私たちは、市内5校ある中学校のうち第三中学校区内で「にんげん尊重のまちづくり」を目指して、人と人のふれあいを大切にする活動を展開しています。

なかでも、昨年11月「大阪府草の根人権活動奨励賞」をいただいた活動は、1998年当時、市の玄関口であるJR千里丘駅前広場が自転車やバイクの駐輪場状態にあり、人ひとりが通るのに支障があるほどひどい状況でした。もちろん市からの強制撤去はあるものの、駐輪状況は改善されませんでした。ましてや公権力もない私たちに何ができるのか。

しかし、「視覚障害者や車椅子の方が駅を利用する場合、どうやって乗車されているのか」という疑問から、校区内の視覚障害者の方などに尋ねたところ、「利用していない」とのこと。せっかく市がエレベーター・エスカレーターの設置など利用しやすい駅として周辺整備をおこなったのに、障害者の方が利用できない。「どうしたらいいのか」はじめは手探り状態でしたが、駅へ誘導する点字ブロックの上及びその周辺部への「駐車・駐輪をしないよう呼びかける」とともに、通行人にはアイマスクを付けて点字ブロックの上を歩いてもらい、視覚障害者はどのような状態で歩いているのかを、身をもって体験してもらう「疑似視覚障害者体験」への勧誘を呼びかける活動に取り組みました。（※電気拡声器による呼びかけとティシュペーパーの啓発チラシの配布、※疑似体験への勧誘など）

活動で分かったことは、

- ①「点字ブロック」が何のためにあるのか知らない人が多い。（約半数）
- ②駐輪施設が足りない。

その後、市は「点字ブロック」が何のためにあるのかを明示したシールを広場や歩道に貼付し、常駐の清掃兼車両整理員を配置しました。さらに、駐輪場の増設や広場にラック式駐輪システムを導入（2時間まで無料だがそれ以上は有料）したことにより、かつての状況はなくなりました。

結果だけを見ると、市の力がなければ出来なかったことで、私たちは非力です。ただ、人の「こころ」良心に訴えかけてきたことによる多く人の力の結集と思っています。

今後も、「にんげん尊重のまちづくり」を目指し活動に取り組んでまいります。

